

環状オレフィンとして代表的なノルボルネン(NB)の重合体であるポリノルボルネンは、高い光透過性、耐薬品性などの特徴を有していることからエンジニアプラスチックとしてカメラのレンズや光ファイバーなどに応用されている。一方で極性溶媒に難溶で融点が高いなどの点から成膜性などの成型加工性が低いといった課題がある。本研究では、ポリノルボルネンの加工性の改善を目的として、ノルボルネンと極性官能基を有したノルボルネン誘導体である5-[[6-ブromoヘキシル]オキシ]メチル]-2-ノルボルネン(NBBHE)を共重合して得られたポリマーをトリメチルアミンで塩にすることで、極性溶媒への溶解性向上の検討を行った。得られた共重合体はメタノールなどに溶解することが確認された。

